

## 2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

国・地域 [ ルワンダ ]

学校名 [ Umuco Mwiza School ] 担当教諭名 [ 竹本 葉 (JICA) ] ( 6年 28名 )

日本学校名 [ 横浜市立幸ヶ谷小学校 ] 担当教諭名 [ 細谷 邦弘 ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	図画工作	アートマイルプロジェクト	30

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	人や国の不平等をなくそう
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	平和と平等の虹を掛けよう



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>ルワンダの課題について改めて考え、解決について話し合いをすることができた。</li> <li>テントカラーを使用して色の混合などについても指導をし、たくさん色を使用した活動をすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsを知らない子ども、情報を集めるツールのない子ども達の主体性を引き出しながら学習を進めるのがとても難しく、一方的になっていた部分。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の意識の中にルワンダの課題だけではなく、ルワンダの強みを再認識することができた。</li> <li>単発の交流ではなく、幸ヶ谷小学校の子達は自分たちの友達であるという認識が生まれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>模写だけではなく、色の混合についての指導を行い、指導意欲が向上した。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月	・SDGsを理解する/課題発見 ・グループに分かれて「人や国の不平等をなくそう」に沿った課題についてディスカッション	SDGsが何かを理解し、ルワンダにはどのテーマに合うかを考える姿が見られた。	図工7
共有 相手と意見交換	10月	・それぞれの国の課題について共有Zoomとフォーラムを通して調べたことやルワンダでの課題を共有	幸ヶ谷小学校のみなさんと意見交換をし、ルワンダだけではなく先進国である日本にも課題があること知った。	図工8
融合 メッセージ作成	11月	・課題解決に向けての解決策を話し合い幸ヶ谷小学校と融合 ・Zoomとフォーラムを通して課題解決について共有	ルワンダでの課題を発見し、自分たちだったらどのように支援をするか、課題解決に向けて、自分事として考えた。	図工5
創造 壁画制作	1月	・壁画制作 ・ディスカッショングループごとに分かれて、制作	幸ヶ谷小学校の皆さんが描いた絵にインスピレーションを受けながら、全員で一つの絵になるように描いた。	図工5
評価 振り返り 自己評価	2月	・評価 ・アンケート実施	子ども達も今まで行われてきた交流とは違い、同世代の日本の大切な友達という気持ちが芽生えた。	図工5

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	交流を通して日本語を理解したいという子ども達の姿を見る場面が多く見受けられた。
主体的に考え行動する力	3	課題解決に向けて考えようとはする姿勢は見られたが、「答え」がない課題について考えるのは慣れておらず、主体的に考え行動する力は感じられなかった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	あまり批判的に思考する場面は見受けられなかった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	「次はいつなの?」「楽しかった!」などと、いつも日本との対話や交流を楽しみにしながら協働学習をすることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	手紙や壁画制作において自由に表現する場では自分たちのこだわりをしっかりと色や形で表現していた。